

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2020-151152 (P2020-151152A)

【公開日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2020-039

【出願番号】特願 2019-51956 (P2019-51956)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 情報表示手段と、
 第 2 情報表示手段と、
 M A X ベットランプと、
 M A X ベットスイッチと、
 内部抽せん手段と
 を備え、
 遊技区間として、第 1 区間と、第 2 区間とを有し、
 第 1 区間では、第 1 情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が
 表示されないよう構成されており、
 第 1 区間では、第 2 情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が
 表示されないよう構成されており、
 第 2 区間では、第 1 情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が
 表示される場合があるよう構成されており、
 第 2 区間では、第 2 情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が
 表示される場合があるよう構成されており、
 第 2 区間であって、最小遊技時間が経過している所定の状況にて内部抽せん手段により
 特定抽せん結果が決定された遊技において、第 1 情報表示手段にストップスイッチの有利
 な操作態様に関する情報が表示された後に、第 2 情報表示手段にストップスイッチの有利
 な操作態様に関する情報が表示されるよう構成されており、
 第 2 区間であって、最小遊技時間が経過していない特定の状況にて内部抽せん手段によ
 り前記特定抽せん結果が決定された遊技において、第 2 情報表示手段にストップスイッ
 チの有利な操作態様に関する情報が表示された後に、第 1 情報表示手段にストップスイッ
 チの有利な操作態様に関する情報が表示される場合を有するよう構成されており、
 内部抽せん手段により所定抽せん結果が決定された遊技では、遊技者の停止操作が受け
 付けられたことに基づいて、所定図柄組合せが停止され得るよう構成されており、
 前記所定図柄組合せが停止された場合は、前記所定図柄組合せに対応した数の遊技媒体
 が付与され得るよう構成されており、
 或る状況における所定の遊技にて内部抽せん手段により前記所定抽せん結果が決定され

、その後当該所定の遊技の次回の遊技に関するベット数が「0」であり、貯留数表示手段に貯留数の表示として所定数が表示されている状況ではMAXベットランプは点灯されており、その後投入口に遊技媒体が1枚投入される場合において、当該遊技媒体が投入された以降の第1のタイミングでは、MAXベットスイッチの操作によるベットはできないがMAXベットランプは点灯されており、その後の第2のタイミングでは、MAXベットスイッチの操作によるベットは可能でありMAXベットランプは点灯されているよう構成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

このような回胴式遊技機においては、裏箱内にメダルが散乱している状態で、前扉を閉めると、前扉と裏箱との間にメダルが挟み込まれることがあり、前扉をスムーズに閉じることができなくなることがある。

このため、前扉を閉じる際におけるメダルの挟み込みを防止することができる遊技機の提供が望まれている。

また、円滑に遊技を進行できる遊技機の提供が望まれている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る遊技機は、

第1情報表示手段と、

第2情報表示手段と、

MAXベットランプと、

MAXベットスイッチと、

内部抽せん手段と

を備え、

遊技区間として、第1区間と、第2区間とを有し、

第1区間では、第1情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示されないよう構成されており、

第1区間では、第2情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示されないよう構成されており、

第2区間では、第1情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示される場合があるよう構成されており、

第2区間では、第2情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示される場合があるよう構成されており、

第2区間であって、最小遊技時間が経過している所定の状況にて内部抽せん手段により特定抽せん結果が決定された遊技において、第1情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示された後に、第2情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示されるよう構成されており、

第2区間であって、最小遊技時間が経過していない特定の状況にて内部抽せん手段により前記特定抽せん結果が決定された遊技において、第2情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示された後に、第1情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示される場合を有するよう構成されており、

内部抽せん手段により所定抽せん結果が決定された遊技では、遊技者の停止操作が受け付けられたことに基づいて、所定図柄組合せが停止され得るよう構成されており、

前記所定図柄組合せが停止された場合は、前記所定図柄組合せに対応した数の遊技媒体が付与され得るよう構成されており、

或る状況における所定の遊技にて内部抽せん手段により前記所定抽せん結果が決定され、その後当該所定の遊技の次の遊技に関するベット数が「0」であり、貯留数表示手段に貯留数の表示として所定数が表示されている状況ではMAXベットランプは点灯されており、その後投入口に遊技媒体が1枚投入される場合において、当該遊技媒体が投入された以降の第1のタイミングでは、MAXベットスイッチの操作によるベットはできないがMAXベットランプは点灯されており、その後の第2のタイミングでは、MAXベットスイッチの操作によるベットは可能でありMAXベットランプは点灯されているよう構成されている

ことを特徴とする遊技機である。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

正面側が開口した箱状の基体と、

基体の開口を開閉可能な前扉と、

遊技媒体払出装置と、

遊技媒体払出装置から払い出された遊技媒体を受ける受け部と、

前扉の裏面側に設けられ、遊技媒体払出装置から払い出された遊技媒体を受け部に導く所定連絡通路と、

前扉センサと、

を備え、

前扉が施錠された閉鎖状態の状況下からこの閉鎖状態の前扉が開錠されて基体から特定距離だけ離間している特定の開放位置では前扉センサの検出信号により前扉の開放を検知せず、

前扉が施錠された閉鎖状態の状況下からこの閉鎖状態の前扉が開錠されて基体から所定距離だけ離間している所定の開放位置では前扉センサの検出信号により前扉の開放を検知し、

特定の開放位置において、遊技媒体払出装置から払い出された遊技媒体は、所定連絡通路を介して受け部に導かれ得るよう構成されており、

所定の開放位置において、遊技媒体払出装置から払い出された遊技媒体は、所定連絡通路を介して受け部に導かれ得るよう構成されており、

前扉が閉鎖状態の状況下で、基体における前扉側の底部（以後、単に「基体底部」という。）には、前扉における基体側の底部（以後、単に「前扉底部」という。）に向けて張り出した第1片を設け、

前扉が閉鎖状態の状況下で、前扉底部には、基体底部に向けて張り出した第2片を設け、

前扉が閉鎖状況の状況下で、第1片及び第2片は互いに重なり合う位置関係であり、

前扉が所定の開放状態の状況下でも、第1片及び第2片は互いに重なり合う位置関係であるよう構成されており、

前扉が閉鎖状態の状況下で、第1片と第2片との隙間は、遊技媒体の厚さよりも大きくなるよう構成されている

ことを特徴とする遊技機である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本態様に係る遊技機によれば、前扉を閉じる際におけるメダルの挟み込みを防止することができ、円滑に遊技を進行できる遊技機を提供することができる、という効果を奏する。